

## 2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310032004	社会学 Sociology	山口 佐和子			2	選択	3後期
<b>科目の概要</b>							
社会的に自立して生きて行く上で必要と考えられるスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を十分に活用できる人材育成を目指す(DP2)。 この科目では、社会学の思考枠組、歴史、理論、具体的事象について学修する。具体的社会事象に関しては、生活、家族、組織、共生をキーワードに、社会のありようを理解し、より良い地域・社会とはどうあるべきかを考え、提案できる能力を身に付ける。また、社会学理論を個々の生活の中で活用する方法も修得する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 社会学の全体構造、および成り立ちの歴史を知る。 ② さまざまな社会学理論や関連する専門用語を理解する。 ③ 社会問題とされる具体的事象について考察する。				① 社会学の全体構造、および成り立ちの歴史を説明することができる。 ② さまざまな社会学理論や関連する専門用語を説明することができる。 ③ 社会問題として学修した知識を活用し、社会問題の解決に向けて、自分の考えを提案することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に学修および調査研究を進めることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	困難があっても、工夫しながら目標に到達できる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理することができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手や読み手にわかりやすく工夫のある発信をすることができる。					
	傾聴力	人の話や意見を注意深く聞き、正しく理解する。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するために協力することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：『ジレンマの社会学』三隅一人 高野和義、ミネルヴァ書房、2,800円＋税 参考文献：『社会学がわかる事典』日本実業出版社、1,500円＋税、『よくわかる社会学第3版』ミネルヴァ書房、2,500円＋税							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
この科目は、全学共通の位置づけであり、各学科の卒業研究に結びつく可能性を持つベースとなる科目である。「家族論」や「ジェンダー論」と隣接する。							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もノートにとること。日頃から国内外の社会ニュースに着目し、自分なりの意見を持つ習慣をつけること。				学則で定められたように、遅刻3回で欠席1回とみなす。授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係ない電子機器の使用を禁ずる。授業の課題、予習、復習に取り組むこと。授業で配布する資料の予備は保管しないので、欠席した場合は、google classroomからダウンロードすること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓		社会学のうち具体的社会学と理論的社会学の基礎事項を理解しているか、および自分自身の経験を社会学の基礎知識を活用して、論理的で正しい日本語で表現できているかが評価される。知識の獲得：社会学の全体構造、成り立ちの歴史、さまざまな社会学理論、関連する専門用語を理解できているかが評価される(70%)。知識の活用：具体的社会学で学んだ事柄を活用し、世の中の課題をみつけることができているかが評価される(15%)。知識による解決：認識した課題に対し、論理的で正しい日本語によって、自分自身の考えを提示できているかが評価される(15%)。	
				②	✓			
				③	✓			
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
		レポート		0	①			
					②			
					③			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①					
			②					
			③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性) 積極的に学修し文献や情報を探ることができる。 (実行力) 工夫しながら目標に到達できる。 (課題発見力) 課題を客観的に整理できる。 (創造力) いろいろな方向から考えることができる。 (発信力) 聞き手に対しわかりやすく表現できる。 (傾聴力) 複数の意見を聞くことができる。 (規律性) 授業のルールを守ることができる。		
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識をじゅうぶんに活用し、社会学の全体構造、成り立ちの歴史、さまざまな社会学理論、関連する専門用語をじゅうぶんに説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、非常に論理的で、じゅうぶんに説得力のあるものを執筆し解決案を提示できている。</p> <p>A (優) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、社会学の全体構造、成り立ちの歴史、さまざまな社会学理論、関連する専門用語を説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的で、説得力のあるものを執筆し解決案を提示できている。</p>	<p>B (良) の目安：授業内の課題に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、社会学の全体構造、成り立ちの歴史、さまざまな社会学理論、関連する専門用語を理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的に執筆できている。</p> <p>C (可) の目安：授業内ですべきことを理解し、適切な行動をとることができる。筆記試験においては、授業から得た知識を活用し、社会学の全体構造、成り立ちの歴史、さまざまな社会学理論、関連する専門用語を一定程度理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、設問の意図を理解して執筆できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション 社会学の全体構造と社会学の誕生と発展について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	社会学理論（１） さまざまな社会学理論について事例を聞きながら学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	社会学理論（２） さまざまな社会学理論について事例を聞きながら学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	絆と社会 社会のなかの「生活」をキーワードとして、コミュニティへの期待と実態が現在どのようなものであるかを学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	都市への人口集中 社会のなかの「生活」をキーワードとして、過疎問題を物的・経済的要因、社会的要因、心理的要因の側面から学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	母親のがんばり 社会のなかの「家族」をキーワードとして、育児責任を引き受ける母親たちの思いについて学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	シングルマザーへの福祉 社会のなかの「家族」をキーワードとして、シングルマザーに対する政策の問題性について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	自宅で亡くなるということ 社会のなかの「家族」をキーワードとして、終末期に向き合う家族の実情について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	雇用形態の多様化 社会のなかの「組織」をキーワードとして、正規労働者と非正規労働者の違いや抱える諸問題について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	働くということ 人生において働くことの意味を問い直すことを試みる。	特別講師 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	自主性とチームの強さ 社会のなかの「組織」をキーワードとして、自主性と規律のジレンマについて学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	災害時のデマ拡散 社会のなかの「組織」をキーワードとして、情報社会と流言の問題性について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	特定集団への悪感情 社会のなかの「共生」をキーワードとして、悪感情をめぐる現状、悪感情の生成契機、除去方法等について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ダークツーリズム 社会のなかの「共生」をキーワードとして、観光の時代とダークツーリズムの関係性を学修する。	オンデマンド配信	授業の感想をgoogle formsで送る。授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。授業の感想をgoogle formsで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	授業全体のまとめ 授業全体を振り返る。社会学（ヴェーバーからルーマンへ：社会学の地平）についての教材動画を視聴する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業全体の内容を理解する。 復習：授業のなかで学んだ社会学の思考枠組、歴史、理論、具体的事象および社会学の専門用語について説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力